



学校だより

横浜市立秋葉中学校

令和2年7月1日発行



電話811-6773 FAX813-9438

「新しい生活様式」での生きた学びへ

校長 松本 忠司

学校が再開して1ヶ月が経ち、段階的ではありますが、部活動も本日よりようやく再開することができました。また6月29日(月)には、本年度より設置が決まっていた秋葉小中合同の第1回学校運営協議会の会合が開催され、徐々に学校が正常に近づいてきていることを感じます。

さて本校をはじめとした横浜市立学校では、学校の再開やその後の学校運営について、横浜市教育委員会による「横浜市立学校の教育活動の再開に関するガイドライン」を基に決定し運営しています。またそれは国の方針にも準じたものであり、文部科学省が提示した「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式～」には、地域の感染レベルを踏まえて学校はどう対応するべきかの行動基準や、感染対策の方法が示されています。例えば学校での手洗いについては『手洗いの6つのタイミング』

として「外から教室等に入る時やトイレの後、昼食の前後など、こまめに手を洗うことが重要」と具体的に示されており、これからの学校には「新しい生活様式」での学校生活が求められています。

手洗いの6つのタイミング



現在、中学校では来年度に迫った新しい『学習指導要領』の完全実施に向けて、教育課程の見直し作業を進めています。学習指導要領は、その時代の社会情勢に合わせ、約10年ごとに見直されるものですが、今回の改訂では、現代社会のグローバル化やコンピュータ技術の進歩などにより将来を見通しにくくなっている現在、未来を担う子どもたちが社会を切り拓くための資質や能力を育成することなどを目的に改訂がされています。ある研究では『子どもたちの未来予想』について「子どもたちの65%は大学卒業後、今は存在していない職業に就く。」「今後10～20年程度で約47%の仕事が自動化される可能性が高い。」「2030年までには週15時間程度働けば済むようになる。」などと言われています。そして「このように社会や産業の変化が激しい中、次の世代を創造することが求められる子どもたちには、『課題発見・解決能力』『創造性』『感性、思いやり、意欲、多様性を受容する力』といった資質や能力が重要。」とも言われています。そして新しい学習指導要領では改訂のポイントとして、このような資質や能力を育むために、学校での「主体的・対話的で深い学び」の実践の必要性が示されているなど、これからの学校教育は「正解のわからない未来の世の中を生きていくための力」を育成することに重点が置かれていきます。

今、世界に広がる新型コロナウイルス感染拡大の問題は、生徒たちにとっても身近で現実的な問題です。ニュースなどで知る、世界の人々が感染拡大防止に取り組む姿や、身近な大人の行動は、生徒自身が世の中の「正解のわからない問題」を、自分ごととして捉え、自分にできることを考えることができる「生きた教材」になることでしょう。今はまだ「正しく恐れる」ことが最優先ですが、いつかこの学びをいかし、自らの最適な行動ができる力につながることを期待しています。

学校再開の様子

1 学年

久しぶりに学校が始まり、最初は戸惑いが見られた1年生も、少しずつ中学校生活に慣れてきたようです。緊張して硬かった表情も、笑顔とともにやわらかくなってきました。



朝の登校のようすも落ち着いていて、時間間際にあわてて走ってくることもありません。時間に余裕をもって、どのクラスも開始前から静かに朝読書に取り組んでいます。授業へも一生懸命、意欲的ががんばっています。係や委員会も決まり、クラスも少しずつ動き出しています。「初心忘るべからず」で、3年間今のペースをしっかりとキープして欲しいと思います。

1学年主任 戸田一弘

2 学年

学校が再開してから、1カ月が過ぎようとしています。委員会活動や部活動が始まっていないので、2年生はまだ上級生になったという実感がまだないように見えます。保護者の皆さまは、授業の時間数を



心配されている方も多いかと思いますが、様々な行事が中止になっていることもあり3月までには十分回復できる見通しが立っています。生徒たちはマスク着用などいわゆる「新しい生活様式」に、一生懸命取り組んでいます。街中で見かける大人たちよりも、中学生の方が立派な行動をしているなど感じる今日このごろです。(写真はトマト栽培の授業の風景です。)

2学年主任 佐藤公章

3 学年

分散登校の間はどのクラスも静かでしたが、全員が登校してからは、日一日と元気な雰囲気が増してきました。少人数の方が授業に集中しやすく感じる生徒や、逆に仲の良い子がいなくて寂しい思いをした生徒もいたようです。昼休みでは、暑い中でも元気に外で遊ぶ生徒、金閣寺の模型作りに集中している生徒、図書館で静かに過ごす生徒と様々です。でもさすが3年生、授業で目の色が変わってきた生徒が多いと先生たちは感じています。



3学年主任 笠井清隆

7組（個別支援学級）

7組(個別支援学級)の再スタートは、長かった休校期間を考慮し、①「新しい生活様式の徹底」、②「学校生活のリズムに慣れること」、③「徐々に体力をつけること」、④「暑さに慣れること」の4つ



をテーマに過ごしました。手を洗ったり、お互いの距離をとったり、マスクを取ったりつけたり、順番を待ったりの繰り返しの中で、お互いを意識しつつ安心して楽しく過ごせるクラスを目指しています。様々な教科で様々な教科担当の先生と、時には楽しく、時には厳しく、それぞれの目標に向けて歩いていきます。

7組担任 安江茂樹

☆秋葉小・中学校 学校運営協議会 設置

先日29日(月)15:30から本校図書室において、第1回学校運営協議会が開催されました。教育委員会より指導主事の方が出席され委員の方へ委嘱状が交付されました。

会長には、川上地区連合町内会会長の藤井克彦様。副会長には、名瀬連合町内会会長の新井敏行様、前田町内会会長の高嶋威男様の2名の方が指名されました。詳しい内容、資料等につきましては次号で紹介したいと思います。

☆ S S W (スクールソーシャルワーカー) のご紹介



S S Wの田中正子さんが月1回程度、生徒・保護者の相談活動のために勤務いたします。S S Wとは「スクールソーシャルワーカー」の略称で、社会福祉士や精神保健福祉士の資格を持ち、生徒や保護者の困り事について社会福祉の観点から相談にのります。相談内容は、お子様の発達や育児での困り事、家庭内での困り事、経済的な困窮に関わることなど多岐にわたります。S S Wはその相談によって、より専門的な機関や役所など様々な社会資源を活用しながら問題解決を目指します。

※S C (スクールカウンセラー) は臨床心理士の資格を持ち、心理的な観点から相談にのります。

【相談希望の問い合わせ先 生徒指導専任 菱沼 直也】

7・8月のおもな予定

- | | | | |
|----|--------|----------------------|-------------------|
| 7月 | 7日(火) | ～16日(木) | 1年部活動仮入部期間 |
| | 14日(火) | | 体操着販売 |
| | 17日(金) | | 部活動保護者会、3年修学旅行説明会 |
| | 22日(水) | | 3年前期中間テスト |
| | 28日(火) | | 体操着販売 |
| | 31日(金) | | 全校集会 |
| 8月 | 1日(土) | ～16日(日) | 夏季休業 |
| | 11日(火) | ～14日(金) | 閉庁日 |
| | 17日(月) | | 全校集会、身体計測 |
| | 18日(火) | | 体操着販売 |
| | 18日(火) | 19日(水) 20日(木) 21日(金) | 教育相談 |

令和元年度学校配当予算報告書 令和2年度学校配当予算計画書をお知らせいたします

平成31年度（令和元年度） 学校配当予算決算報告書

横浜市立秋葉中学校

1. 学校運営費

予算費目	予算額			決算額	主な執行内容
	配当予算額	流用額	流用後の額		
報償費	280,000	-250,296	29,704	19,704	謝金、ボランティア交通費
消耗品費	8,062,000	-683,952	7,378,048	7,376,728	3万円未満の物品等
食糧費	50,000	-39,067	10,933	10,933	来客接遇用茶菓
印刷製本費	132,000	-97,435	34,565	34,565	校名入り封筒印刷
修繕料	144,000	85,185	229,185	229,185	校内放送機修繕、体育館シート取納かご修繕、楽器修繕等
通信運搬費	123,000	108,946	231,946	231,706	郵券、携帯電話使用料、代表生徒交通費
手数料	100,000	53,164	153,164	153,164	図書装備、ピアノ調律、クリーニング、卒業証書筆耕等
委託料	137,000	371,180	508,180	508,180	樹木苗木植樹委託、大型ごみ、文書出張細断
使用料及び賃借料	1,012,700	156,541	1,169,241	1,157,421	自然教室貸切バス代、PCソフト使用料、生徒病院バス移送等
学用器具費	2,420,000	122,153	2,542,153	2,542,153	パソコン、卓球台、レクチャーアンプ、筆、銅鑼、移動式防球ネット等
図書費	1,107,000	-372,079	734,921	734,921	生徒用図書
負担金等	59,200	-19,600	39,600	39,600	中教研会費（戸塚区9校分）
施設小破	800,060	510,800	1,310,860	1,310,860	消火水槽修繕、プールポンプ室漏電、ガラス修繕、フロア床修繕他
施設修繕手数料	30,240	118,960	149,200	149,200	鉄扉修繕、外壁灯回路配線調整等
校地小破	64,500	-64,500	0	0	
	14,521,700	0	14,521,700	14,498,320	

※報償費・使用料及び賃借料の第4四半期残額は再配当できない為、そのまま残額になります。

2. 特別配当

予算費目	配当額	決算額	執行内容
工事請負費（営繕）	2,624,421	2,624,421	吊上バスケットゴール修繕、職員玄関タイル貼替、屋上プールフェンス撤去、消防点検不良箇所修繕、プール濾過機修繕、職員玄関電気錠及び扉改修
小中学校整備費	87,945	87,945	生徒数増加分机椅子
コンピュータ整備事業	400,000	399,999	ケーブル端末、ケース等
コンピュータ整備事業（消耗品）	250,000	249,920	無線LANアクセサリ、スイッチングハブ等
いじめ防止対策推進事業	1,320	1,320	のぼり用紙
キャリアパスポート予算	30,525	21,367	写真
中教研（通信運搬）	16,000	16,000	戸塚区美術巡回展作品搬出入9校分

3. その他

予算費目	配当額	決算額	執行予定
燃料費	181,000	104,136	灯油、草刈機用ガソリン等
旅費	2,432,803	2,275,080	教職員旅費

4. 光熱費

予算費目	決算額
電気	7,226,323
ガス	1,016,568
水道	6,677,698
プール	3,994,081

※電気・水道・プールは秋葉小・秋葉中の合計



令和2年度 学校配当予算執行計画書

横浜市立秋葉中学校

1. 学校運営費

予算費目	配当予算額	予定執行額	執行予定内容
報償費	280,000	80,000	謝金、見舞金等
消耗品費	9,050,000	8,550,000	3万円未満の物品等
食糧費	50,000	50,000	来客接遇用茶菓
印刷製本費	134,000	60,000	校名入り封筒印刷
修繕料	148,000	200,000	楽器修繕、他備品修繕
通信運搬費	123,000	255,000	郵券、携帯電話使用料、代表生徒交通費等
手数料	100,000	200,000	図書装備、ピアノ調律、卒業証書筆耕等
委託料	137,000	383,500	大型ごみ回収、文書出張細断、教室ワックス掛け
使用料及び賃借料	969,900	900,000	自然教室貸切バス代、PCソフト使用料、生徒病院バス移送等
学用器具費	2,485,000	2,550,000	3万円以上の物品
図書費	1,142,000	800,000	生徒用図書
負担金等	24,000	24,000	中教研会費等
施設小破	806,000	1,396,400	校舎内修繕、ガラス修繕等
施設修繕手数料	30,000	30,000	校舎内修繕
校地小破	64,500	64,500	校舎外修繕
	15,543,400	15,543,400	

【その他】

予算費目	配当額	執行予定
燃料費	105,000	灯油、草刈機用ガソリン等
旅費	2,259,000	教職員旅費